





# 安慶市で市内中学生31人 水泳と卓球で

3月31日から4月7日までの8日間、中学生31人が、友好都市・安慶市を訪問し、水泳と卓球によるスポーツ交流を行いました。

31日関西国際空港を出発した「茨木市スポーツ親善訪中団」一行37人は、全員が初めて訪中することもあり、不安と期待が入り交じった複雑な心境で晴天の上海空港に到着しました。

翌日4月1日は、上海市体育館で、上海市のコーチから技術指導を受けながら練習の汗を流しました。

4月2日に、安慶市に到着し、訪問団一行は熱烈歓迎を受けました。

4月3日の卓球の試合会場となった「石化化肥倶楽部」でのスポーツ交流開幕式には、周公順安慶市長をはじめ関係者が多数出席され、小学生の

鼓笛隊の演奏も加わり盛大に行われました。

卓球は、シングルス、ダブルス、団体戦が行われ、茨木から9人の選手が出場しました。安慶の選手は皆体格が大きく、苦戦を強いられ、女子は一回戦で負けましたが、次の日の団体戦では茨木が勝ちました。男子は団体戦では負けたものの、シングルスで準優勝、ダブルスでは優勝しました。

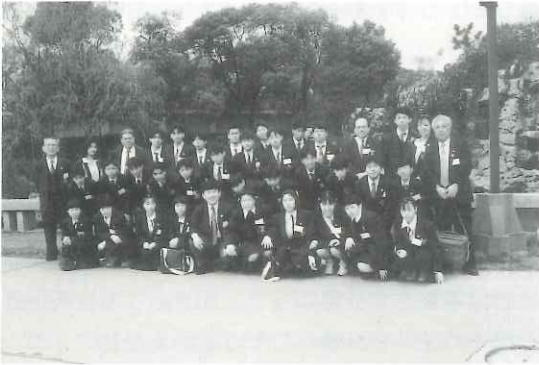
安慶入りする前日に、上海市の卓球コーチ、史美盛氏から「もっとフットワークを使って」・「腰の回転を利用して」と具体的な指導を受けた成果がでたようでした。

水泳には22人の選手が参加し、開幕式会場の近くにある「游泳館」で試合を行いました。競技種目は、男女とも個人戦では50Mの自由形、バタフライ、背泳、100Mの自由形、バタフライ（男子の





▲小学校訪問で歌を披露 西郊賓館（上海）にて▼



## スポーツ交流

み)、平泳、メドレー、団体戦では200Mの自由形とメドレーでした。安慶の水泳選手は強豪揃いでの種目も手に汗握る接戦でした。女子は、100M平泳、200M自由形リレーで1位、男子も50M自由形、100M自由形、バタフライ、200M自由形リレーで1位と好成績をおさめました。

水泳選手も、上海市水泳コーチ兼監督の顧美媚女史の指導をうけており、卓球選手と同じようにその成果がでたようでした。

交流試合後の歓送会では、茨木・安慶両市の選手が写真を一緒に撮りあったり、住所の交換をしたりと漢字や英語を使って交流を深め、友情を育みました。また、小学校や迎江寺など安慶市の施設も見学し、楽しい思い出を胸に全員元気で帰国の途につきました。



### 安慶の友達との交流

南中学校 2年 木尾善治

1日目の出発のバスの中でパスポートが配られたとき、自分のパスポートが他の人の裏にくっついていて、なかったので「行けなかったらどうしよう」とあせりました。2、3日目は、水泳を見てもらったり、市内見学、買物などで、茨木とは全然違うところを見て勉強になりました。中国は、都会の一面と、昔のまま残っている一面がありました。

安慶市では、沢山の友達ができて、とても嬉しかった。話す言葉は違うけれど、お互い心で楽しい時を過ごせたと思います。中国に来て、いろいろなことを学びましたが、友達ができることが、一番嬉しかった。



### 中国訪問で得たこと

北中学校 2年 井上民子

今回の中国訪問で、お金の使い方や、中国の食べ物、市内見学などいろんなことを体験できました。

また、卓球も有名なコーチに教えてもらい、前よりは上達できたと思います。中国の選手は、サーブのコースや、相手のコースにふるのがすごく上手だったので、今後そういうことから練習しようと思います。

そして、中国に来て良かったと一番思ったことは、安慶市の人と仲良くなれたことです。行く前は言葉も通じないし、多分仲良くなれないだろうと思っていましたが、ノートに字を書いて話をするのができて、すごく嬉しかった。

安慶へ

## 農業指導者訪中団

茨木市農業指導者訪中団が3月1日～6日まで中国を訪問し、安慶市で農業交流と視察を行いました。メンバーは、団長に安慶市友好都市委員会の河原政夫副委員長、団員には、池尻伊一委員、菊花協会の奇二脩会長、茨木市農協営農指導員の鈴木昭氏でした。

安慶市では、郊外の野菜栽培・加工、懷寧県の望春花・缶詰工場・養鶏場、それに、潜山県の中日友好農場と、いろんな農業施設を視察・見学しましたが、今回は花卉指導について報告します。

安慶市で花卉・花木の栽培の中心は、人々の憩



新装の安慶空港に到着



農業交流会議

いの場でもある菱湖公園で、ここは、菊・バラ・梅など1万4千本を栽培し、温室も数棟あり、また、すばらしい盆栽を持っています。昨年来訪された安慶市長が関心を示されたように、近頃、人々の生活水準が向上し、花への需要が増したことや、花は収益性が高いことから、現在の花卉の小売収入3,000元(約3万3千円)を2年後には二万元(22万円)に増産する計画だそうです。また、個人経営の花屋を合併企業にして、日本からの技術指導や種子の提供をお願いしたいということでした。

土壌の改良・樹木の間隔・温室の作りなど問題は山積していますが、日本から持参した花の種子や書籍を贈呈し、今後の研究と協力を約して満開の梅を眺めながら、菱湖公園を後にしました。



グループディスカッション

## 姉妹都市活動室

外国人ゲストを迎えての講演会や研究会で英会話の勉強を一緒にしませんか。

- 〈活動日〉 木曜会 第1木曜日午前10時～  
土曜会 第3土曜日午後2時～  
〈年会費〉 正会員 2,000円(18歳以上)  
準会員 1,000円(中・高校生)



ハロウィーンパーティー

## 青少年活動室

月に1度、なまの英語にふれてみませんか。青少年活動室では、外国人講師と一緒に、季節の行事やゲームを通して英語を楽しんでいます。いろんな国の人々との交流会も計画しています。

毎月原則的に第3日曜日の午後2時から福祉文化会館で行っています。参加費は無料です。



# 安慶市での大歓迎に感謝

昨年10月、総勢27人の市民親善訪中団が安慶市を訪れました。今回は、団員の一人向山義夫氏の安慶市訪問記をお届けします。

茨木市の友好都市、中国安慶市を訪れる市民親善訪中団の募集を知り、希望してその一員に参加したのは、以前から唐詩にうたわれていた美しい中国の風物、広々とした大地、夢幻とも思える風景に惹かれていたのもその一因であると思います。

昨年9月に開港された関西国際空港から上海を経由して、ここもまた、開港されたばかりの安慶空港に着きました。

安慶市は、地図には出ていますが、日本で販売されているどの旅行ガイドにも一行の記事も出でず、観光のまちではないためか、まちを歩いたときも、街頭に日本人とか西洋人とかの観光客を見掛けることはありませんでした。

ホテルで旅装を解いた後、直ちに安慶市人民政府を表敬訪問しました。折悪しく周市長は北京へ出張されていましたが、二人の副市長をはじめ幹部の方々の大歓迎を受け、歓迎夕食会を催していただきました。本場の中国の料理とお酒でもてなしを受けながら歓談しましたが、日本語が話せる方も多くその方たちの通訳で話が弾みました。

長江遊覧、曲技団の鑑賞などの日程をこなし、

安慶市最後の日は、市の小学校の授業風景を見学させていただきました。

学校に着いてバスを降りた途端、校門の近くに整列していた児童たちによる鼓笛隊が、歓迎の合奏をはじめたのには、度肝を抜かれるとともに、晴れがましい気分させられました。この学校は、かなりレベルの高い小学校であるらしく、整った環境で子供たちが行儀よく勉強していました。日本の小学校と比べると、1クラスの人数がかなり多く、70人前後のクラス編成になっていました。

私たち親善訪問団の一行は、このような視察、見学の諸行事により、これまで全く何も知らなかった中国の実情を幾らかでも見聞し、認識を新たにしたいとの自負を抱いて、私たちに対する安慶市の方々の心からの歓迎に感謝しつつ同市にお別れをしました。

安慶のシンボル振風塔



鼓笛隊の歓迎



安慶空港にて(前列右端が筆者)

北中学校訪問



中央図書館見学



# 安慶市長来茨

中国の友好都市・安慶市と茨木市が永遠の契りを交したのは、10年前の1985年10月のことです。

今年は、締結10周年記念の節目の年にふさわしい事業を計画しようと、昨年11月周公順安慶市長を団長とする「安慶市友好代表団」一行5人が来茨した際、山本市長（協会会長）と平成7年度の交流計画について協議しました。

まず、今秋には、友好都市締結式典を茨木市で挙行了ことから、今回は安慶市において10周年報告会として、記念式典が開催されます。報告会では両市長の基調報告をはじめ、交流の足あとが報告されます。また、両市の芸能の共演の提案もされています。

本市からは茨木市・茨木市議会の代表団の派遣が計画されていますが、当協会では、この記念式典に参加する一般市民と芸能参加者で編成する親善訪中団を派遣する予定です。

また、今夏には、両市との交流の足跡を紹介する「書画・写真展」を茨木、安慶両市を会場に開催します。この「書画・写真展」は今年アメリカのミネアポリス市とも姉妹都市提携15周年を迎えることから、本市では、ミネアポリス市との交流も同時に紹介する予定です。

今回の「安慶市友好代表団」は、安慶市から多くの研修生を派遣している愛媛県今治市で経済交流の協議を行うため、同市を訪問の後帰国されました。

本市では、安慶市委員会委員との懇談をはじめ、農業関係者との交流、学校訪問、西河原市民プールや中央図書館等公共施設の見学、企業訪問など、多くの市民との友好を深められました。

帰国時、周市長は、「1995年は友好都市締結10周年。茨木市民の方々が多数訪安されることを熱烈歓迎いたします。是非、経済発展著しい安慶市を訪問してください。再見。」と挨拶され、周市長の友好的な人柄が印象に残ったさわやかな訪問でした。



山本茨木市長と周安慶市長



# うちのみの秋報告

昨年11月、紅葉に彩られた姉妹都市の小豆島<sup>うちのみ</sup>内海町を25人の市民訪問団が訪問しました。

この訪問団は、毎年キャンセル待ちがでるほど人気があります。それは、小豆島の紅葉が美しいこと、海の幸が一番美味しい時期であることなどいろいろありますが、なんといっても内海町の皆さんが昔からの友人のように私達を温かく迎えて下さることが一番の理由です。これが参加者の口コミで広がり、毎回10月に募集をしますが、2カ月前から問い合わせがあるほどです。今回も前評判以上に盛り上がった訪問団の行程を一部紹介します。大阪城築城残石の八人石丁場跡を見学し、オリーブ記念館での内海町表敬訪問の後、ハーブ園を見学、二十四の瞳岬の分教場映画村では2日前に完成した映画館で田中裕子主演の「二十四の瞳」を鑑賞しました。夕食の懇親会では内海町議

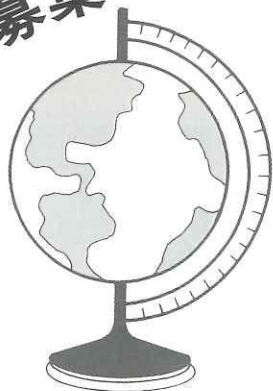


会の浜口副議長さんの指導で「オリーブの歌」の大合唱（この1曲で延々1時間）という盛り上がりようでした。翌日は早朝の海辺を散歩し、小豆島民族資料館、マルキン記念館、景勝寒霞溪、四方指、太陽の丘（オリーブ神殿）、そうめん工場を見学し、昨晚の「オリーブの歌」を皆で口ずさみながら楽しく福田港へ向かい、役場の皆さんの紙テープに送られて小豆島を後にしました。

市自治振興課では小豆島を満喫されたい方、初めて訪問される方に交通案内、観光案内パンフレット「茨木市市民海の家」の利用案内・予約受付等を行っていますので気軽にお問い合わせ下さい。



協会会員募集



今年にはミ市と姉妹都市提携15周年、安慶市と友好都市締結10周年を迎え、楽しい行事をたくさん予定しています。国際交流に興味をお持ちの方は、この機会にぜひご入会下さい。会員には、協会報や協会が催す交流行事のご案内をいたします。

〈年会費〉 個人会員（一般） 2,000円  
 （学生） 1,000円  
 団体・法人会員 一口5,000円

〈申込先〉 協会事務局（市役所3階自治振興課国際交流係 ☎22-8121内線2143）

# 英語スピーチ大会報告

昨年11月3日、中学生14人、高校生7人が参加し第11回英語スピーチ大会が開催され、出場者の皆さんが熱弁をふるわれました。

入賞者の皆さんは次のとおりです。

〔中学生の部〕1位 高木克也(南中3年) 2位 國分友紀子(西陵中3年) 3位 太田靖子(北陵中3年)〔高校生の部〕1位 西本加奈子(追手門学院高2年) 2位 濱 吉秀(茨木高1年) 3位 伊藤理枝(茨木高1年)



入賞者の皆さん

## 上田副会長・樋口副会長が逝去



故 上田 秀一氏  
(平成6年11月21日逝去)



故 樋口 義明氏  
(平成7年4月7日逝去)

当協会設立時から、姉妹・友好都市交流にご尽力をいただいたお二人に心からのご冥福をお祈りいたします。

## 寄付

本市の国際交流事業の推進のためにと次の方から温かいご寄付をいただきました。ご厚意に心からお礼申し上げます。(11月～3月、敬称略)

〈市へ〉社団法人茨木カンツリー倶楽部(500万円)

## 茨木市における国際交流の足あと

(1994)

—— 第22号以降の経過 ——

- 6. 5 「'94小豆島オーリーブマラソン」に市民61人参加
- 5 「'94ジャパンウィーク訪問団」一行88人訪ミ
- 6 第11回ゴルフコンペ開催
- 7 「安慶市環境衛生視察団」一行5人来茨
- 7 ミネソタ州日本語村へ高田礼子さん、藤井基弘さんがカウンセラーとして訪ミ
- 7 内海町青年団演劇部が市民総合センターで演劇2題を公演
- 8 内海町との「こども交歓事業」  
(内海町から41人来茨、茨木市から44人訪問)
- 9 「安徽省人民代表大会常務委員会」一行7人来茨
- 10 「茨木市友好訪中代表団」一行10人訪安
- 10 市保健医療課長森脇幸信氏、財政課長北川一夫氏海外研修のため訪ミ
- 10 「茨木市民親善訪中団」一行27人訪安
- 11 第11回英語スピーチ大会開催
- 11 「内海町への市民訪問団」一行25人訪問
- 11 「安慶市友好代表団」一行5人来茨

(1995)

- 7. 3 「茨木市農業指導者訪中団」一行5人訪安
- 3 「茨木市スポーツ親善訪中団」一行37人訪安



'94ジャパンウィークでの茨木展



こども交歓事業



安徽省人代常務委員会